

令和4年（2022年）6月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（4日目）

令和4年6月14日（火）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	上原 快佐 (立憲民主・社大) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 道路行政について 2 児童館・公民館・図書館整備について 3 那覇文化芸術劇場なは一について	(1) 真嘉比松島線の道路湧水について伺う (2) 鏡原10号・小禄高校グラウンド側歩道の街灯設置について伺う 左記公共施設の現状及び今後の整備計画について伺う (1) なは一との事業目的について伺う (2) 市民及び本市在の小中高校等が使いやすい体制となっているか伺う (3) 技術スタッフの現状について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（4日目） 令和4年6月14日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	<p>山田マドカ (ニライ)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 AEDの設置状況について</p> <p>2 認知症患者について</p> <p>3 子どもの貧困対策について</p> <p>4 社会的弱者の就労支援について</p>	<p>栄町周辺のAED設置状況について伺う</p> <p>(1) 認知症患者数について伺う</p> <p>(2) 本市における認知症患者道迷い及び、行方不明者の報告件数を伺う</p> <p>(3) 宜野湾市が取り組んでいる、みまもりタグのような取組を那覇市でできないか。道迷い等の支援対策について伺う</p> <p>全ての支援施設及び事業において本来ならば公的支援が必要である。那覇市において補助金をもらっていない居場所が34か所。今後、支援補助を拡充すべきである。現状と課題及び今後の展開について以下伺う</p> <p>(1) 補助金を出していた団体数と予算について伺う</p> <p>(2) 補助金は人件費に充てる事が可能か伺う</p> <p>(3) 各小学校から徒歩10分以内に配食がある居場所はどの程度あるのか、また足りていない地域については今後どのようにされるのか伺う</p> <p>(4) 夏休みなど長期休暇になると体重の落ちる児童もいるが那覇市独自の取組が必要ではないか伺う</p> <p>生活困窮に陥りやすい中卒や高校中退など就労支援に配慮すべき方々への就労支援制度について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和4年6月14日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	清水 磨男 (ニライ) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 しまくとぅば、ウチナーグチについて 2 図書館について 3 地域行政について 4 人員配置について 5 環境と観光について	方言札は、どのような制度であったのか伺う (1) 那覇市立図書館は、理念に基いて重点項目を設定しているが、資料の収集、整理、保存の位置付けを伺う (2) 那覇市立図書館、学校図書館における司書の配置状況を伺う (1) 多くの那覇市民が、他市町村まで公園に出かけることをどう捉えているのか伺う (2) 久場川公園整備の今後の計画について伺う (3) 公衆便所について、栄町は使用状況の調査と清掃頻度が実態に合致していないと考えるが、改善について伺う (4) 災害対策で、避難所の冷房設置状況について伺う (1) 職員の定年引上げに向けた那覇市の対応を伺う (2) 部活動指導員と外部指導者について、那覇市の配置状況と今後の計画について伺う レスポンシブルツーリズムへの那覇市の考えを伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（4日目） 令和4年6月14日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	<p>奥間 綾乃 (無所属クラブ)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 教育行政について</p> <p>2 高齢者見守り事業について</p> <p>3 健康行政について</p> <p>4 道路行政まちづくりについて</p>	<p>(1) コロナの影響も踏まえて、コロナ前後の市内小中学校におけるいじめの認知件数及びその内容について伺う</p> <p>(2) 教員の多忙化解消に向けた取組について伺う</p> <p>以前から要望を行ってきた「みまもりサービス」について、なは市民の友、今月号に実証モニターの募集が掲載されている。その取組について伺う</p> <p>令和元年6月定例会にて、東京都足立区で肥満や糖尿病対策に一定の成果を出している「ベジファースト・一口目は野菜から」という取組を紹介させていただいた。本市にも導入を促したところ前向きな答弁をいただいたことから、その後の進捗状況について伺う</p> <p>亜熱帯庭園都市の道路美化事業について伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和4年6月14日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	湧川 朝涉 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 自衛隊基地・環境問題について 2 コロナ禍の保健行政について 3 介護保険について 4 福祉行政について 5 こども政策について 6 消防行政について	自衛隊那覇基地内のPFAS汚染について、見解と対応を問う (1) エッセンシャルワーカー定期PCR検査の概要を問う (2) 乳幼児の予防接種の概要と課題を問う 認知症の取組の概要と課題を問う (1) 緊急通報システムの概要と課題について問う (2) 個別避難計画の取組について、見解を問う (1) こども医療費無料化の概要について問う (2) こんにちは赤ちゃん事業の概要と課題を問う (3) 医療的ケア児の取組について問う 那覇市地域防災計画の概要について問う 【答弁を求める者】 関係部長

一般質問（4日目） 令和4年6月14日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	<p>古堅 茂治 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 平和行政について</p> <p>2 教育行政について</p> <p>3 米軍基地問題と城間市長の政治姿勢について</p>	<p>「慰霊の日」のある6月は沖縄戦と平和を考える月。広報なは「市民の友」6月号では、特集 命どう宝一首里戦線と遺骨収集を体験した私が伝えたいこと—15歳という年齢で、在郷軍隊の一員として激しい首里戦線を経験した翁長安子さんの証言が掲載され、「令和4年6月23日、沖縄戦の組織的戦闘の終結から77年を迎えます。沖縄は、国内唯一の地上戦が行われ、空からは爆撃、海からは艦砲射撃、陸からは戦車による火炎放射という『鉄の暴風』と言われる激しい攻撃に、兵士だけでなく多くの住民が巻き込まれました。那覇市においても、日本軍司令部が置かれた首里をめがけて、米軍による20万発もの砲弾が撃ち込まれました。沖縄戦で亡くなった方々は、日本兵と一般住民合わせて20数万人（うち一般住民が約10万人）といわれています。近年、戦争体験者が減り、記憶の風化が懸念されています。沖縄県民が経験した悲惨な戦が二度と繰り返されないよう、慰霊の日に改めて戦争と平和について考えてみませんか。」と訴えている。高く評価する。戦後77年、今回の特集企画の意図を問う</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第1条の3第1項で、「地方公共団体の長は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下単に「大綱」という。）を定めるものとする。」と、規定されている。本市の大綱での平和教育の位置づけを問う</p> <p>国土の0.6%の面積しかない沖縄県には米軍専用施設の総面積の70.3%が集中している。翁長雄志前知事は、自らの著書「戦う民意」で、「一県に集中した基地負担、世界一危険な基地の存在、民意を無視した基地建設の強行、世界的に貴重な自然環境の破壊——。日米安保体制のもとに、自由、人権、平等という価値を守る民主主義国家のあるまじき現実が沖縄で繰り返られていま</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>4 気候危機・温暖化対策について</p>	<p>す。」と、沖縄の民意を一切無視して新基地を強引に進める国の姿勢を糾弾し、『辺野古に新基地はつくりたくない』という主張を象徴として、政治の大きな変革の原点をつくっていくことが沖縄を変え、日本を変えることにつながり、真の民主主義を確立することにつながるはずで。とはいえ、沖縄だけで日米両政府の強大な権力に立ち向かうことはできません。そして、確かな勝算もありません。しかし、勝てそうにないからといって、相手の理不尽な要求に膝を屈し、そのまま受け入れるでしょうか。もしそうならば、私は一人の人間として、この世界に生きる意味が薄らぐのではないかと思っています。私たちには少なくとも『主張する権利』があります。これは人間の誇りと尊厳を賭けた戦いでもあるのです。」と強調している。翁長氏の著書「戦う民意」の一字一句には、新基地を絶対につくりたくないとの命をかけた沖縄への熱い思い、うちなーんちゅ魂、平和で誇りある豊かな沖縄づくりへの翁長雄志氏の揺るがない不屈の信念、ウチナーンチュの誇りが込められている。ブレずに辺野古新基地反対を貫き、玉城県政を支えている城間市長の見解を伺う</p> <p>気象庁の発表によると、沖縄地方の5月の降水量は1946年の統計開始以来、平年に比べて最も多く、日照時間は最も少なく、平均降水量は平年比3倍で日照時間は約5割も減っている</p> <p>いま、世界各地で、異常な豪雨、台風、猛暑、干ばつ、海面上昇が大問題となるなど、気候危機とよぶべき非常事態が起こっている。すでに世界の平均気温は1.1～1.2度上昇しており、それを抑え、破局的な気候変動を回避することに、地球と人類の未来がかかっている。そこで、省エネルギーと再生可能エネルギーを組み合わせ、2030年までの間に全世界のCO₂排出を半分近くまで削減することが求められている。地球温暖化対策として、省エネ性にすぐれ、寿命が長いという特徴をもつLED照明を本市でも促進し、市庁舎のLED化を図るべきである。見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 障がい者行政について</p> <p>6 那覇らしい亜熱帯庭園都市のまちづくりについて</p>	<p>障害者手帳——身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者数（本市・県）を問う</p> <p>緑化や美化を推進し、地域ごとに魅力のある景観形成を図るとともに、観光地としての魅力向上とイメージアップを図ることが求められている。市庁舎の正面では、那覇市のシンボルの市花木・ハウオウボクと市木・フクギを観ることができるが、南国の鮮やか市花・ブーゲンビレアはない。丈夫で1年を通して開花する多彩なブーゲンビレアを植栽し、イメージアップを図るべきである。対応を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和4年6月14日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	<p>栗國 彰 (自 民 党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 福祉行政について</p> <p>2 市長の政治姿勢について</p> <p>3 那覇市住宅確保要配慮者専用賃貸住宅供給促進モデル事業について</p>	<p>2021年生活保護申請件数23万5,063件（1～3月は確定値、4月以降は速報値）で、20年と比べて5%増えたことが分かった</p> <p>(1) 新型コロナ感染の影響で生保申請者2年間の推移を伺う</p> <p>(2) 本市生活保護受給世帯のうち、高齢者世帯、母子、障がい、傷病、その他世帯の件数を伺う</p> <p>突然の城間市長の政治姿勢の変節に市民は大変驚きを持って受け止めている。城間市長は、いつ頃、不出馬を決めたか、その経緯を伺う</p> <p>(1) 新たな住宅セーフティネット制度の内容について</p> <p>(2) 本市における住宅確保要配慮者数について</p> <p>(3) 賃貸者が入居を拒まない登録住宅、専用住宅を増やすための当局の取組について</p> <p>(4) 入居者の負担軽減策について</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和4年6月14日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	<p>大城 幼子 (公明党)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 総務行政について</p> <p>2 倒木対策について</p> <p>3 道路行政について</p> <p>4 交通安全対策について</p>	<p>本市発注の警備業務委託について、昨年6月定例会で桑江豊前議員が、価格の適正化を求める沖縄県警備業協会の陳情を通して改善を求めた。その後の対応と現状を伺う</p> <p>5月29日（日）午前4時頃、安謝小学校正門付近のガジュマルの大木が倒れ、枝が通学路側の電線に接触し、付近一帯が一時停電となる状況があった。以下伺う</p> <p>(1) 事故の経緯と対応、発生要因について</p> <p>(2) 学校、公園、道路など市内公共用地における令和元年以降の倒木件数と被害について</p> <p>(1) 安謝地内里道整備計画について概要と事業の進捗状況を伺う</p> <p>(2) 私道整備補助事業の活用状況を伺う</p> <p>(1) 市内の次の箇所に右折矢印信号の設置を求める要望がある。見解を伺う</p> <p>① 港湾1号線と市道曙3号線との交差点信号</p> <p>② 国道58号浦添市から南向けの天久歩道橋に設置されている信号</p> <p>③ 県道82号線古島インター首里向け（古島方面寄りの）交差点信号</p> <p>(2) 天久小学校付近の信号について歩車分離式の標示を運転者側にも見えるよう設置してほしいとの要望がある。見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(3) 松山2丁目付近の市道に停止線を設置してほしいとの要望がある。見解を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和4年6月14日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	<p>比嘉啓登 (自民党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 那覇のまち再生について</p> <p>2 指定管理者制度について</p> <p>3 通学路整備について</p> <p>4 デジタル庁との連携について</p> <p>5 公園整備について</p>	<p>2021年度の那覇市民意識調査において、沖縄の顔でもあるマチグラー・国際通りへの市民の訪問意向につき「全く行かない」がそれぞれ40.2%(18年度29%)、30.3%(21.8%)と大幅に減少し、過去最悪となっている 那覇のまち再生に向けた市街地活性化基本計画の見直し状況と課題認識を問う</p> <p>国際通りに位置するてんぶす館の指定管理期間が10年と長期契約に変更することが検討されている 事業リスク・難易度が高くなり、参入事業者も限定される「長期契約化」を行うとする経緯と意図を問う</p> <p>通学路整備に際して、市民からの要望に対して市が十分に応えられていない現状が議会でも繰り返し問題提起されている。通学路整備の取組状況と、真和志小学校前の整備後の安全確保の状況を問う</p> <p>那覇市のDX化をさらに推進するために、那覇市から中央政府デジタル庁への出向者送り込みの検討状況を問う</p> <p>本年度実施予定の総合公園漫湖公園多目的広場での実証実験の検討状況を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>